

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズプラス新大阪南		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 3日		2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 12月 3日		2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・部屋が複数ある為、気持ちが不安定になった児童のクールダウンを行う場として使用することができる。	・支援室には、安全管理上不要な物は置かないようにしている。 ・机の配置等、余暇スペースの確保の為に工夫を行っている。	・掲示物を最低限にすることで課題に集中しやすく環境設定をしていく。 ・日々の整理整頓により、ご利用者がより落ち着く環境づくりをしていく。
2	・ミーティングを定期的に行い、個々の児童の評価などを確認する機会を設けることで、より良い支援をする為の話し合いができています。	・業務前ミーティングなどを用いて意見を把握する機会が設けられている。	・ミーティングを子ども達の入室前と退室後に行い、支援計画に沿った個別課題の準備や集団活動の支援内容の検討を行うことで、より良い支援や満足度の向上につなげる。 ・苦情があった場合には経緯等説明の上、再発防止に向け職員間でも情報の共有を行っている。
3	・活動プログラムでは月毎の療育テーマを基に教室内で検討・立案をし、提供することができる。	・固定化しないよう毎月各職員から活動プログラムの案を提出し責任者が曜日や内容の検討を行っている。	・進級や進学など子どもの課題や状況に併せて個別活動・集団活動での支援について職員内で検討を行い、ブラッシュアップしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会、療育参観等の開催は行っているが、保護者同士の交流につなげることが出来ていない。 ・児童館や地域の子どものとの交流の機会がない。	・保護者会として今年度前期に実施した1回のみでそれ以降実施できていない。 ・公園に行く活動は取り入れているが、児童館などの交流は取り入れが出来ていない。	・年2回、前期後期として保護者会を実施し、交流がしやすいイベントを検討していく。 ・公園などの課外活動だけでなく、地域の交流が図れる活動の検討。
2	・家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等を設けることが出来ていない。	・家族支援の実施はしているが、送迎などにより全ご家庭への家族支援が実施できていない。 ・地域の研修会や情報提供の場を設定できていない。	・送迎時や保護者様の送迎時の家族支援の提案や周知をブログやニュースレターなどで行い、より全体への周知を行っていく。 ・地域の研修会などの情報を集め、お便りなどで周知を行っていく。

3	・非常時の対応や災害時対応に関するマニュアル、対応方法などの周知が出来ていない。	・活動や記録として残しているが、お伝えする場面が少なく共有できていない。	・教室内の環境や取り組み内容について、ブログやニュースレターを通して発信を行う。 ・療育参観実施時などにも周知を行い、より保護者に把握していただける方法での周知を行う。
---	--	--------------------------------------	---

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スマートキッズプラス新大阪南 放課後等デイサービス					公表日	2026年2月25日		
						利用児童数	23	回収数	21
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19			2	・広々としていてよいと思います。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2		3	・とてもよくしていただいています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18			3			
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				・大変よくしていただいている、ありがとうございます。 ・楽しく通ってくれているのが何よりです。 ・今後もタイミーなどの一時的な契約での人材確保などは避けていただきたい。(ないと思いますが) ・息子に合った声掛けや支援をして頂いている。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21				・入念に意見交換し、子供達の特性を理解したとてもよい計画をつくっていただいております。 ・定期的に更新があり、子どもの課題共有ができています。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				・楽しそうです。 ・外出する活動を増やしてもらえると嬉しいです。 ・毎日、色々な支援内容があり、すばらしいと思います。 ・毎日工夫された活動をしている。	・祝日や土曜開室、長期休みで近所の公園に行くなどの課外活動を取り入れる。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	6	6			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21				・とても親切丁寧な、説明がございました。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	4	3			

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	21				・毎回送迎時にその日の様子を丁寧に伝えてくださり、感謝しております。 ・スタッフの方からのお手紙が嬉しい、それをもとに家で子どもと話せる。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21					・大変よくしていただいて感謝の気持ちでいっぱいです。 ・スモールステップで支援をしてくださっていて、褒める機会をたくさん作っている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	4	5			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		2			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					・スタッフの方が直接お話ししてくださったり、ノートの連絡がある。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	2		4			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17			3			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			1			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		2			
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1		4			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21				・とても安心感があり、気に入っています。 ・スマートさんと会える友達、スタッフの方たちに安心している。		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1		1	・とても楽しみにして、楽しんでおります。 ・活動が工夫されていて、自分から行きたいと伝えてくれることがある。		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				・大変満足しております。 ・他害する子がいるので、今後も注視していただければと思います。一度、子供が頭をたたかれています。 ・子供の成長を長期的に支えてくださり、たくさん成長することができた。	・児童の特性を考慮した支援方針を職員内で確認、改善のための話し合いを増やし安全管理を徹底していく。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	スマートキッズプラス新大阪南 放課後等デイサービス	公表日		2026年2月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・支援室には、物を置かないようにしている。 ・机の配置等、余暇スペースの確保の為に工夫を行っている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・教室内の職員数確保のため送迎時間の調整等を行っている。	・安全管理しやすい体制を整えるために、送迎範囲や送迎手段などの見直しを検討。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・掲示物を少なくすることで、課題に集中しやすくなっている。 ・洗面台には台座を設置し児童が利用しやすいようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日児童が帰った後に掃除をしている。 ・空気の入れ替えを行う事で暖房による不快感を軽減している。 ・子どもたちが心地よく過ごせるよう清掃業務を行っている。 ・換気をかならず行うようにしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・クールダウンできる部屋も用意している。 ・気持ちが不安定になった際に、落ち着く事が出来る別室がある。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・教室内ミーティングを通して業務改善について検討している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・半年に一回更新のタイミングで面談をしてその機会を設けている。また、その面談の内容をミーティングで共有して改善に繋げられるように話している。 ・評価表を基に来年度の改善目標を立案している。 ・送迎時に話せるようにしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・業務前ミーティングなどを用いて意見を把握する機会が設けられている。 ・コミュニケーションを良く取り話しやすい環境ができていると思う。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・社内研修は各職員の勤務年数や役職等に応じて開催されている。 ・月一回の階層別研修がある。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・保護者との面談を基に作成している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・それぞれの意見や児童の姿を見て作成されている。 ・保護者や利用者のニーズを基に作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・管理責任者が職員それぞれの意見も聞きながら検討している。 ・業務前ミーティングなどで個々の児童の評価などを確認する機会がある。 ・職員間で意見交換を行い支援について検討している。 ・共有を行いこどもの最善をだせるようにできている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・支援計画については職員会議実施のもと支援内容の確認を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・アセスメントシートの活用や日々の気づきを職員間で共有している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・保護者との面談を通じて支援内容の設定を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・毎月それぞれ案を5つずつ出している。 ・月毎の療育テーマを基に活動プログラムの内容について教室内で検討・立案をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・それぞれがしっかりと新しいことを考えるようにしている。 ・固定化しないよう毎月各職員から活動プログラムの案を提出し検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・子どもの課題に併せて個別活動・集団活動での支援についてサービス計画を作成し支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・毎日ミーティングをするようにしている。 ・子ども達が入室する前にMTGを開催し、支援内容の検討を行っている。 ・早下校などにより、ミーティングができていない時もある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	・短勤務で最後までいないため、何か気になることがあったら次の日のミーティングなどで伝えるようにしている。 ・当日に実施できていないが、支援の振り返りについては翌日のMTG等で情報共有を行っている。	・毎日業務前ミーティングを実施しているが、別で終礼などの実施も検討していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・個別の記録を毎日記入している。 ・療育記録やサービス提供記録など、日々の支援内容について漏れが無いよう記録作成を徹底している。記録を基に支援内容の改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・相談支援事業所と連携しモニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・自己決定のできる声掛けや促しを行うように心掛けている。 ・選択肢を設ける・カードの使用など、子どもに応じて自己選択がしやすいように行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・教室内でも子どもの状況や支援状況について共有したうえで、会議には責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・他事業所と意見の交換などをしてより良い支援ができるようにしている。（絵カードを同じものを使ってみるなど） ・各利用者の主治医を確認する等、緊急時には連携できる体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・保護者の方が行事予定表や早く下校することを連絡帳やメール、電話にて連絡をくださることが多い。 ・学校からの書類や保護者からの連絡をもとに情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	・児発が小学校に上がる時には行いたい。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1		

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		3		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2		・今後は積極的に参加し関係機関との連携を強めていく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			・送迎時などを中心に保護者と情報共有を行う時間を設けている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			・契約書類をもとに説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			・面談や日々のご利用の中で子どもや保護者の意向を確認している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			・面談時の説明をもとに確認を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			・相談があった際には教室内で支援等について検討し、教室からの意見として保護者にも共有している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1		・保護者会として今年度前期に実施。後期にも実施し交流の場を設定する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			・苦情があった場合には経緯等説明の上、再発防止に向け職員間でも情報の共有を行っている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3			・チラシを作って配っている。 ・毎月支援プログラムを発信している。今後はHPにてブログでの情報発信を行っている。 ・SNS更新が止まってしまっている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			・書類等は指定場所に保管し紛失が無いよう徹底している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			・対面時だけでなくメールや電話等を活用し日々の支援についてなど情報の伝達を行い共有漏れがないよう努めている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		・地域住民との関りは実施できていない。
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			・毎月避難訓練を実施している。 ・各種マニュアルを策定のもとご利用者様に周知を行っている。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			・訓練の実施に加え、非常災害時に避難経路については子どもが利用時に目に付く場所に掲示している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・社内研修を行い、各職員が安全管理についての研修を受講のもと、支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハット報告書をもとに、対策について教室内で検討している。 ・月1あげられるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・職員の研修を実施している。 ・研修を実施のもと、他教室職員同席のもと日々の支援や関りが虐待に該当しないか検討する機会を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			